

# 【日本医科大学附属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： CRC-151

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (BRAF陽性)	BEACON doublet (Encorafenib+Cetuximab) (Cmab-biweekly)	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	中	N Engl J Med 381: 1632-43, 2019

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート ボラミン 生理食塩液	6.6mg 5mg 50mL	点滴静注	5分	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓													
③	アービタックス 生理食塩液	500mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	初回 120分 2回目～60分	↓													
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分 (初回)	↓													
	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分 (2回目以降)	↓													
⑤	ピラフトビ	300mg/body/日	内服	1日1回	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

## <注意事項/備考>

- ✓ Cmab：初回は2時間かけて投与、2回目以降は1時間かけて投与
- ✓ Cmab投与後の経過観察時間について：経過によっては省略可（生食50mL 5分に変更） / 定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ インフュージョンリアクション（Cmab）：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹（Cmab）：比較的早期から生じる。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
- ✓ 爪囲炎（Cmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を
- ✓ Encorafenib：網膜障害、ぶどう膜炎など眼障害：眼の異常があらわれた場合は、速やかに病院など医療機関へ受診する、あるいは主治医へ連絡するよう患者指導を
- ✓ Encorafenib：血圧上昇（高血圧）に注意（自宅での定期的な測定・記録を）